中学生とのタウンミーティング（８月）でいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと』　令和6年8月20日（火）13：30～

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | | 対応可能性と  対応時期 | | 対応策または  不可能な理由等 | | | 担　当　課 | |
| 1 | 水不足の対策として検討していることはありますか。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 松山市では、「節水型都市づくり」に取り組んでいます。その中でも、使う水の量を意識せずに減らせる「節水シャワーヘッド」など節水機器の普及に力を入れてきました。また、道路に埋めてある水道管の水漏れがないか点検し、早めの修理や交換を行う  ことで水の有効活用に努めています。  これらの取組や皆さんのご協力で、市民１人が１日に使う水の量は、大渇水前の平成５年度が３５８リットル、令和５年度は  ２８０リットルと、約２０％も減らすことができました。  限りある水資源を有効に使うことが節水につながります。  「無理に使わないのではなく、無駄に使わない」ことを意識してください。引き続き、学校やご家庭での節水にご協力をお願い  します。 | | | 総合政策部  水資源対策課  越智　美香子  089-948-6947  公営企業局  企業総務課  山口　雄之  089-998-9887 | |
| 2 | 現在、松山市ではどのようなまちづくりを行っているのでしょうか。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 松山市では、皆さんが愛着や誇りを持って、快適に暮らせる  まちづくりを進めています。歩いて暮らせる「コンパクトシティ」、海や山がある「素晴らしい自然」、おいしさが全国に知られる  「紅まどんな・せとかなどの柑橘」、海外からもお客さんが訪れる「松山城・道後温泉」など、今ある地域の宝に磨きをかけ、  新たな魅力をつくり出して、次の世代に残していきます。  現在、「第７次松山市総合計画」をつくっています。これは、  今後１０年間のまちづくりの方向性を決める本市の最上位の計画ですので、若い皆さんをはじめ、多くの方々の意見を聞きながら、誰もが住みたい、働きたいと思う松山を実現するための計画  として、しっかりつくっていきます。 | | | 総合政策部  シティプロモーション  推進課  篠﨑　亮  089-948-6877  企画戦略課  田内　長宏  089-948-6213 | |
| 3 | 学校や教育に対して、どのくらいの税金がどのように使われていますか。今後、充実させていきたい教育活動はありますか。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 今年度、教育に使う予定のお金（予算）は、約２０４億円で、松山市全体の約１０％を占めています。学校では、電気・水道代などの日々の教育活動を続けていく経費をはじめ、授業などで  使う備品を購入したり、古くなった校舎を建て替えたりする経費なども含まれています。  これまで、大きな地震に備え校舎の耐震改修に力を入れたほか、ＩＣＴ機器の普及に伴い、１人１台のタブレット端末を導入  しました。その他にも、給食の食材価格の値上がりに対し、  市が負担することで、栄養バランスと量を保った給食を続けて  います。このように、皆さんが良好な環境で学べるよう、その時々の状況に合った取組をしています。  また、教育には、幅広い世代の方が学ぶ「社会教育」という  分野があり、公民館の行事や子規記念博物館、市立図書館の運営などを行っています。今後も、こどもから大人まで多くの方々が、夢をもって学べる教育の環境づくりに取り組みます。 | | | 教育委員会  教育総務課  野瀬　崇晃  089-948-6588 | |
| 4 | 興居島では土砂崩れで通行止めの箇所があり、由良港に比べ、泊港の周辺にお店があまりないので、島民や観光客が不便に感じています。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 門田町の松山市道（興居島４９号線）は、今年（令和６年）  ７月に工事が完成し、現在は通行できます。泊町の愛媛県道  （興居島循環線）は、１０月の完成に向け、愛媛県が工事を  行っています。  また、松山市では、興居島などの島しょ部で、空き家を使った地域の活性化を進めています。「離島の空き家」という名称の  空き家バンクを運営し、それぞれの島を紹介したり、空き家の  物件を掲載したりして、全国の移住を希望する方や民間企業に  情報を発信しています。ここで紹介した空き家を使う民間企業も出てきていますので、引き続き、関係課が連携し、島の暮らしが便利になり、にぎわいが生まれるよう取り組みます。 | | | 都市整備部  道路河川管理課  玉井　祐一  089-948-6478  坂の上の雲まちづくり部  まちづくり推進課  藤澤　祐司  089-948-6816 | |
| 5 | 自転車の路上駐輪を多く見かけるので、街中に無料の駐輪場を設置してほしい。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  ■次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 路上への駐輪は、歩行者のほか、救急車や消防車などの緊急  車両の通行を妨げるなどの影響があります。そのため、松山市では、放置自転車が多く見られる市内中心部から駐輪場を整備しています。今年（令和６年）３月には、いよてつ髙島屋南側の  「中之川通り」の歩道に、無料で駐輪できる区画（路上駐輪場）をつくりました。今後、花園町通り西側にある「市役所第四別館」の無料駐輪場でスペースを増やす予定です。これまでに整備した  大街道の駐輪場（最大２時間無料）や、近くの民間駐輪場  （１～３時間程度無料）もご利用ください。  また、大街道の周辺では、案内員（サイクルガイド）が駐輪場の利用を呼びかけ、自転車利用のマナー向上を啓発しています。これらにより、平成８年度に約９，０００台あった放置自転車が、令和５年度には約１，６５０台に減るなど、対策が進んでいます。 | | | 都市整備部  都市・交通計画課  大澤　貴久  089-948-6479 | |
| 6 | 四国新幹線を取り入れ、アーティストのライブが行える施設を建設すると、より松山市を活発的にできると思います。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | | 四国新幹線が実現するよう、松山市では、愛媛県や県内の市町、民間企業と一緒に、ＪＲ西日本やＪＲ四国への要望など働きかけしています。また、松山市長がこれら自治体や企業などでつくる団体の副会長に就任し、積極的に活動しています。  今年（令和６年）６月からは、四国４県が協力し、皆さんの声を国に届ける署名をインターネットで始めました。これからは、地域での機運の高まりが、とても大事になりますので、ぜひ  ご協力をお願いします。  また、現在、ＪＲ松山駅の南側エリアにつくる新しい施設の  検討を重ねています。市民の皆さんの意見を伺い、新たな  にぎわいを生み出したいと考えています。  【四国新幹線整備促進期成会HP（WEB署名の入力フォーム）】  https://www.shikoku-shinkansen.jp/signature/ | | | 都市整備部  都市・交通計画課  上田　朱里  089-948-6836  交通拠点整備課  野口　英治  089-948-6515 | |
| 7 | 私たち中学生に、松山市をより良くするために、何かできることはありますか。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 松山市には、美しい自然やおいしい食材、俳句や文学が身近に感じられる風土、道後温泉本館・松山城など歴史ある建物、  歩いて暮らせるコンパクトシティなど、豊かさや宝がたくさん  あります。  中学生の皆さんには、このような他の都市で見られない地域の  魅力を知ってほしいと思います。そして、愛着や誇りを持って、松山のことをしっかり調べ、学んで、今後も残したいと思った  松山の豊かさや宝を、周りの人に伝え続けてほしいと思います。  若い世代の皆さんと一緒に、これからも持続可能なまちづくりをしっかりと進めていきます。 | | | 総合政策部  企画戦略課  田内　長宏  089-948-6213 | |
| 8 | 野球などボールを使える公園が少ないと思う。近くの公園には、バスケットやテニスのコートがないので、気軽にスポーツできる公園や施設があればいい。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 松山市では、市立小中学校の体育施設を、授業に支障のない  夜間に有料で開放しています。利用するためには団体登録が必要ですので、保護者の方などにご相談ください。  また、重信川ソフトボール広場（無料・予約制）や石手川  テニスコート（年会費５００円・登録制）があり、久米地区では南久米公園（使用料：半日１，０２０円）でソフトボールなどができます。  松山中央公園にある運動広場横のコート（無料）では、  バスケットの３on３やシュート練習、テニスの壁打ちができます。  引き続き、限られた市の収入を有効に使って、スポーツの普及や今ある施設の充実に取り組みます。 | | | 教育委員会  地域学習振興課  松村　克彦  089-948-6918  坂の上の雲まちづくり部  スポーティングシティ  推進課  内原　大智  089-948-6598  開発建築部  市街地整備課  金浦　正臣  089-948-6499 | |
| 9 | 高浜地区を活性化させるために、私たちにできることはありますか。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 高浜地区では、まちづくり協議会をはじめ、地域の皆さんが  主役になって、まちづくりを進めています。地域を活性化させ、伝統的な行事や文化を受継いでいくには、大人だけでなく、若い世代である皆さんの参加が必要です。皆さんにとって、地域の  大人と関わることでコミュニケーション能力が高まり、大人の方にとっても、若い世代の方とつながる良いきっかけになります。  高浜地区を活性化させるためには、地域のことをよく知ることが必要です。そのためにも、まずは、まちづくり協議会などの  行事への参加を考えてみてほしいと思います。 | | | 坂の上の雲まちづくり部  まちづくり推進課  佐竹　昭彦  089-948-6996 | |
| 10 | 松山市の環境問題への取り組みを教えてほしい。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 松山市では、「ごみの減量」と「再生可能エネルギーの活用」に力をいれて、環境問題に取り組んでいます。  「ごみの減量」では、市の出前講座などで「ごみの分別」や  「３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）」を正しく理解してもらっています。また、ごみポイ捨て禁止の看板を無料で配布  したり、企業などに地域で清掃してもらう「プチ美化運動」を  呼びかけたりしていて、ごみの減量が進んでいます。  （１人１日排出量：平成２９年度は７８２グラム⇒令和４年度は７５４グラム）  「再生可能エネルギーの活用」では、太陽光発電システムを  自宅などに設置する場合や、電気自動車を購入する場合の補助  制度をつくり、温室効果ガスを減らせる生活スタイルの普及に  取り組んでいます。  【３Ｒとは】  〔リデュース〕ごみや資源の消費を減らす  （マイバッグ利用、使い捨て容器を減らす）  〔リユース〕繰り返し使う  （シャンプーや洗剤などは詰め替え製品を使う）  〔リサイクル〕資源として再び利用する  （ごみを分別し、資源として再利用する） | | | 環境部  環境モデル都市推進課  舛田　梓静  089－948-6434 | |
| 11 | 文化芸術に関するバックアップがあると、ますますレベルアップが期待でき、松山市がさらに豊かに潤うと思います。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 松山市では、四国大会以上の大会や発表会に小中学校の部活動が参加する場合、交通費や楽器の運搬費を支援しています。楽器の運搬費は、今年度から上限をなくし、手厚くなるよう見直し  ました。  また、三味線やお琴など伝統文化の体験や、中学生も参加  できる市民ミュージカルなどで、文化や芸術に触れて学ぶことができるようにしています。  そのほか、大街道などのまちなかで、プロピアニストの演奏会や、市民が気軽に楽器の演奏や歌を披露する場を設けるなど、  文化芸術を身近に感じられる機会をつくっています。  これからも、文化芸術を学ぶ皆さんが、伸びやかに活動できるよう支援を続けます。 | | | 教育委員会  学校教育課  大澤　健太朗  089-948-6870  保健体育課  門田　邦裕  089-948-6596  坂の上の雲まちづくり部  文化・ことば課  冨田　真次  089-948-6634 | |
| 12 | 松山市には道後温泉や松山城など、素晴らしい魅力的な場所が多くあります。そんな中で、市長の思う、松山市の最も魅力的なものとは何ですか。 | | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | | 松山市は、都会の便利さもあれば田舎のおだやかさもあり、  海や島や山があり、各地区に歴史や伝統が受け継がれ、人が  あたたかいまちです。日本最古と言われる「道後温泉」や、全国で１２しかない江戸時代以前につくられた天守のある「松山城」、  瀬戸内海の多島美の景色、柑橘の「紅まどんな」や「せとか」  など、全国に誇れる魅力がたくさんあります。  何かひとつだけがすごいのではなく、たくさんの魅力が  集まっている都市であることが、松山市の魅力だと思います。 | | | 総合政策部  シティプロモーション  推進課  篠﨑　亮  089-948-6877 | |
| 13 | | 土砂崩れなどで集落が孤立してしまったら、松山市はどのように対応しますか。また、震度７の揺れの体験を、学校の避難訓練やイベントで紹介することも良いと思います。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 大規模な災害で集落が孤立すると、松山市の消防隊をはじめ、自衛隊や警察、海上保安部や愛媛県の消防防災航空隊などが連携して、安全な場所に避難させたり、けが人を救助したりします。  　土砂が道をふさいでいるときは、ショベルカーなどで取り除き、狭い道では、資機材などを積んだ小型車両で進むなど、早く現場に向かえるよう経路を確保します。また、島しょ部では、海上保安部とも連携し、消防救急艇やヘリコプターで現場に向かいます。  震度７の揺れを体験できる「地震体験車」は、学校でも利用できますので、ご希望があれば、先生と話し合って、近くの消防署にご連絡ください。 | 消防局  警防課  渡部　剛  089-926-9220  地域消防推進課  宮崎　正次  089-926-9245  東消防署  吉川　将史  089-933-0876 | |
| 14 | | 学校での人間関係がうまくいってなかったり、悩んだりしている子どもが、誰かとコミュニケーションを取れる機会などは、市から提供されていますか。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 市内の各中学校には悩みを抱える生徒を支援するため、専門的な知識や経験を持つ「スクールカウンセラー」がいます。また、松山市や愛媛県でも経験豊富な相談員が、様々な相談を受付けています。ご家庭や学校生活、友達のことなどで、困りごとが  あるときは、１人で悩まず、遠慮なくご相談ください。電話が  難しい場合には、松山市の公式ＬＩＮＥやメールでも受付けて  いますので、ご利用ください。  【こども相談専用電話】０８９－９４３－３２００  【こども・子育て・ＤＶらいん相談＠まつやま】  　ＬＩＮＥ公式ＩＤ：＠matsu\_soudan  【松山市いじめほっとらいん】０８９－９４３－８７４０  　専用メール [soskyshien＠city.matsuyama.ehime.jp](mailto:soskyshien@city.matsuyama.ehime.jp)  【愛媛県いじめ相談ダイヤル２４】０１２０－０－７８３１０ | 教育委員会  学校教育課  久保　敬寛  089-948-6599  こども家庭部  こども相談課  佃　奈緒子  089-943-3215 | |
| 15 | | お城や温泉は他にもあると思う。他に観光名所をつくるのか、松山らしいものにしていくのかお聞きしたいです。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 道後温泉本館の保存修理工事中は、地元の皆さんと協力し、  アートで道後を彩りました。令和４年度から２年連続で、  「にっぽんの温泉１００選」全国３位に選ばれています。  入浴後、風情ある大広間でのお茶とお菓子のおもてなしは  道後温泉本館ならではのものです。  松山城でも、「松山春まつり（お城まつり）」や  「光のおもてなしin松山城」などのイベントで、現存１２天守に数えられるお城の良さを伝えています。  松山市には他にも、子規記念博物館や坂の上の雲ミュージアムなどの観光施設、北条鹿島など自然の景観、古くからの文化で  あるお遍路など、魅力ある宝がたくさんありますので、国内外に情報を発信していきます。 | 産業経済部  道後温泉事務所  楠元　圭  089-921-0101  観光・国際交流課  芝　澄麗  089-948-6557 | |
| 16 | | 空き地や空き家の環境整備を行うなど、美しいまちづくりを期待しています。 | | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | | 「空き地」や「空き家」は、人口減少や高齢化を背景に全国的にも増加しています。松山市では、国がつくった「空家等対策特別措置法」（以下、「空き家法」）という法律に基づいて、対策を進めています。  空き家などは個人の財産で、自由にできる権利がある一方、  適切に管理する責任が生じます。空き家法では、その責任を  果たしてもらうよう、自治体が行う指導や助言、これに従わない場合などの厳しい措置を定めています。  松山市では、雑草が生い茂って困るなどの相談には、まず、  速やかに現地を確認します。それから、所有者を調べ、電話や  文書で状況を伝えて必要な助言なども行います。  また、空き家を「資源」と考えて有効に使う取組として、  インターネットのサイトを通じて、空き家を使いたい人と所有者をつなげる「空き家バンク」を運用しています。今後も、  これらの取組などで、美しい景観を保っていきます。 | 開発建築部  住宅課  加地　俊介  089-948-6498  環境部  環境指導課  谷口　和也  089-948-6442 | |